



当社は、HS財団の動物実験第三者認証施設です

第101号  
2016年（平成28年）2月1日（業務企画部発行）

株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

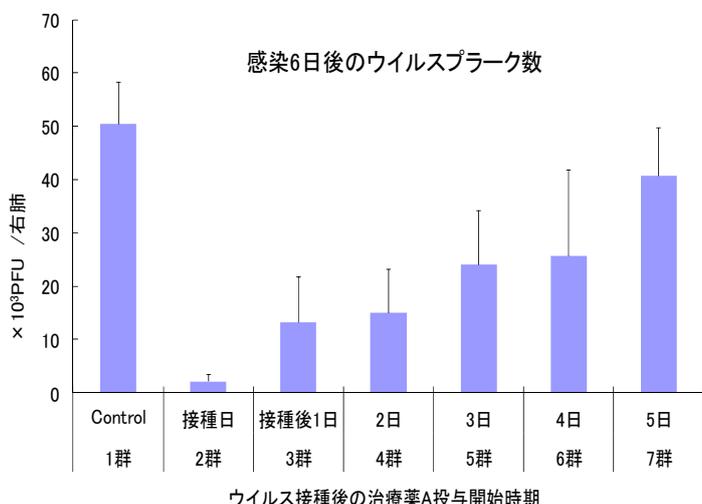
# 感染試験-インフルエンザの治療効果-

インフルエンザの治療薬Aについて、投薬のタイミングと薬効について検討した実験を紹介します。治療薬Aの投与開始がウイルス接種時期に近いほど効果が良好であることが確認されました。

## 実験方法

使用動物: マウス、BALB/c Cr、5週齢  
 使用ウイルス: インフルエンザウイルスPR8  
 [A/PR/8/34 (H1N1)]  
 投薬方法: 経口投与  
 投薬期間: 1群(対照); ウイルス接種日~6日間  
 2群; 接種日~6日間  
 3群; 接種1日後から5日間  
 4群; 接種2日後から4日間  
 5群; 接種3日後から3日間  
 6群; 接種4日後から2日間  
 7群; 接種5日後から1日間

評価: 一般状態観察、体重測定(接種後6日まで)、  
 接種後6日にプラーク測定(右肺)、肺の肉眼観察



## 佐部利 典彦のアートギャラリー(99)

岐阜県出身(1969~)

作者の言葉  
最近、自分の中で制作に対する捉え方がはっきりしてきました。自分の心が動く情景やかたちをもとに、今までにも増して、自由に描こうと思っています。日々の生活の中でみつける心が動くかたちが重要になります。



タイトル: 空間にみるかたち  
F50号、キャンバスに油彩

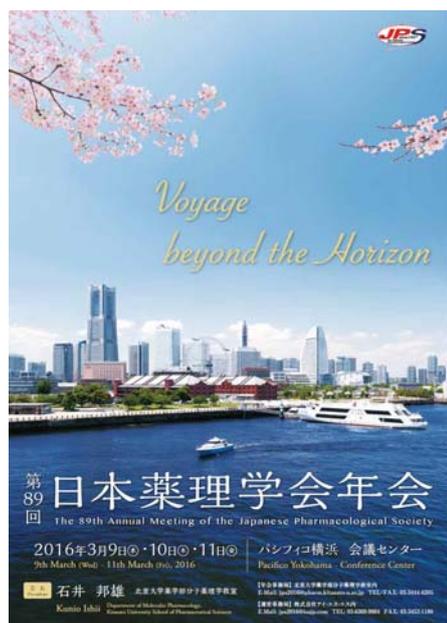
他にも、vivo51号(インフルエンザウイルスを用いた試験)、vivo71号(インフルエンザウイルスを用いた空気感染試験)もホームページよりご覧頂けます。(http://www.nbr.co.jp/)



今年も下記学会にて当社のブース展示を行いますので、是非お立ち寄りください♪

- ★ 第89回 日本薬理学会年会  
2016年3月9~11日 パシフィコ横浜 にて  
(発表演題は、裏面をご覧ください)
- ★ 第15回 日本再生医療学会総会  
2016年3月17~19日 大阪国際会議場 にて

# 第89回 日本薬理学会年会 発表演題



会 場：パシフィコ横浜  
日 程：3月9日(水)～3月11日(金)  
ポスターセッション(301～304会場)



発表日時：3月 9日(水) 13:40～14:40

演 題：**Slukaモデルラットの不安様症状と脳内神経伝達物質の変化**

演 者：村澤寛泰 発表番号：**1-P-35**

発表日時：3月10日(木) 17:10～18:10

演 題：**高脂肪負荷SHRラットを用いた筋肉減量モデルの運動負荷の効果**

演 者：川崎由紀子 発表番号：**2-P-89**

発表日時：3月10日(木) 17:10～18:10

演 題：**造影剤誘発腎障害ウサギに対するagmatineの効果**

演 者：杉浦孝宏 発表番号：**2-P-61**

発表日時：3月11日(金) 15:10～16:10

演 題：**実験的自己免疫脳髄炎におけるベタメタゾンの治療的效果**

演 者：大芝泰弘 発表番号：**3-P-125**

## ～ テクニカルプレゼンテーションのご案内 ～

会 場：パシフィコ横浜 会議センター 3階 316

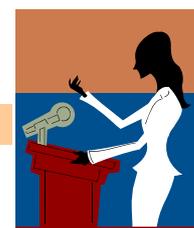
発表日時：3月10日(木) 11:55～12:10 **2-TP-02**

17:55～18:10 **2-TP-04**

内 容：**日本バイオリサーチセンターの新規薬理試験のご紹介**

(Information of new pharmacological tests in Nihon Bioresearch Inc.)

演 者：**狩野真由美 (Mayumi Kano)**



会場にお越しの際は、是非発表及びブースにお立ち寄りください♪